

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		密集住宅市街地整備促進				所管	都市づくり部 地区整備課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	81	計画事業名	密集住宅市街地整備促進	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進				[事業開始] 平成14年度			
		[小 柱] (1)暮らしを支える都市基盤の充実				[終了予定] 平成32年度			
		[施 策] ②防災都市づくりの推進							
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区密集住宅市街地整備促進事業制度要綱、住宅市街地総合整備事業制度要綱、東京都防災密集地域総合整備制度要綱、等			
	事業対象	直接の対象 : 事業地区区民及び関係権利者 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	老朽住宅が密集し、道路や広場等が未整備のため、震災時に多大な被害を受けると予想される地域において、延焼による被害がほぼゼロとなる不燃領域率70%を目指し、不燃化の促進、道路・公園などの整備により、防災性の向上を図る。							
事業内容 [29年度]	地域の特性を活かしながら、区と住民との協働により、災害に強いまちづくりを進めていく。 事業地区: 谷中二・三・五丁目地区 ・新たな防火規制の導入や不燃化特区の指定(谷中地区)による不燃化の促進 (戸建住宅、共同住宅の不燃化建替え助成及び建替えの支援、老朽建築物の除却助成) ・住民のまちづくり活動に対する支援 ・主要生活道路の整備								
委託の有無	一部委託	委託内容		・推進事業(事業の普及啓発) ・測量・建物調査、等					
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	広場・道路等整備	累計箇所	5	3	5	5	6	83.3%
		建替え促進・老朽建築物除却	件	20	12	16	11	20	55.0%
	成果指標	不燃領域率(谷中)	%	55.0	46.3	47.8	48.6	55.0	88.4%
		不燃領域率(根岸)(28年度終了)	%	-	65.5	68.3	-	-	-
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			19,269		17,676		19,273
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			22,860		20,141		7,464
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			238,504		298,648		169,314
		総経費			280,633		336,465		196,051
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			128,591		126,182		112,784	
一般財源(区負担額)			152,072		210,283		83,267		
前回評価から29年度に改善した事項	地元金融機関へポスター掲出を依頼し、住宅ローン相談に来た方への動機づけとした。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	本地区は、地域危険度が5段階中で最も高い区域(谷中3丁目火災危険度5)を含んでいるため、防災まちづくりを進めることは、重要かつ緊急な課題であり、その必要性は高い。また、東京都は、平成27年度に「防災都市づくり推進計画」を改定し、以降策定した新たな助成制度メニューを用意して不燃化促進を強化している。						
	効率性	3	従前居住者用住宅や事業用代替地の活用など、用地取得に係るコストの抑制に努めている。また、国の交付金等を活用することにより、財政負担を減らすことができています。						
	手段の適切性	4	「耐震事業」、「狭あい道路拡幅整備」などと連携し、建替え動向をつかみながら、事業を推進している。また事業の一部を委託し、専門的知識を活用することは、効果的かつ円滑に事業を推進するために、必要不可欠である。						
	目的達成度	3	29年度実績は、用地取得1か所。谷中地域の不燃領域率を向上させるために、30年度は建築関係の業界団体へ協力をお願いするなど、不燃化建替え等の助成制度の更なる周知をし、建替えを促進していく。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
防災まちづくりを進めることは、重要かつ緊急な課題である。市街地大火災を防ぎ、区民の生命、財産を守るため、道路および広場の整備や建替えを促進し、不燃化の向上を引き続き図っていく必要がある。しかし、未だ目標値である不燃領域率70%とのかい離があるので、既存の実施方法を再確認し、さらに動機づけを得られる方法を模索していく。						維持			
						拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			